

## 各団体の取組み事例

富山県森林組合連合会	P1
富山県銀行協会	P2
日本青年会議所富山ブロック協議会	P3
環境市民プラットフォームとやま	P7
富山県婦人会	P8
富山県生活協同組合連合会	P9
富山県 PTA 連合会	P10
富山県消費者協会	P11
富山市	P12
南砺市	P17



## 森林組合系統におけるSDGsの取組状況について

### 1 森林林業のSDGsへの貢献

森林林業は次の項目など多くの目標に関係する。

- ① 国土保全、水源涵養機能の発揮に向けた森林の整備は、6、11、13、15  
が関係する。
- ② 木質バイオマス発電所への木材の提供は、地球温暖化対策の推進につな  
がり 7、13、15 に関係する。
- ③ 気候変動に関する政府間パネルで2022年4月に森林から調達された  
木材製品の利用の改善及び拡大も気候変動の緩和に貢献することが明記  
された。現在では、CLT を活用した木造高層ビルが各地で建設されてい  
る。

### 2 取組の現状

- ① 森林組合系統では、全国森林組合連合会が2023年4月を期首とし2030  
年を目標としたビジョンを策定し、この中で系統として各組織がSDG  
s 宣言をおこない貢献することとしている。
- ② 富山県森林組合連合会及び4森林組合においても同じく、2023年を目標  
にSDGsに貢献することとしている。

## 1. 富山県銀行協会の取り組み

## (1) 取り組みの現状

- ・小学生を対象に、実際に銀行業務に触れてお金について知る「夏休み銀行探検隊」の実施（目標④）  
→今回は北陸銀行で開催。東京為替・インターバンク駐在所Web中継で繋ぎ見学する等の対応で最先端の金融業務を学んだ。
- ・警察と各金融機関による特殊詐欺・犯罪の現状と対応策に関する協議会を開催し犯罪防止に向け情報共有を実施（6月、11月）（目標⑥）
- ・SDGs宣言等、富山県の方策を会員銀行へ周知徹底

## (2) 課題と今後の予定

- ・新たにサポート詐欺が増加、関係者と注意喚起を促す。
- ・女性活躍推進への取り組みを促す。

## 2. 各々の富山県SDGs宣言「当社の取組み」

富山銀行	富山第一銀行	北陸銀行
当行は、経営理念である「健全経営を維持しお客さまから信頼されること」、「地域経済の発展とお客さまのご繁栄を通して社会貢献を図ること」、「創造性、自発性を尊重し明るい企業文化を創ること」に基づき、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け取り組んでまいります。	富山第一銀行グループは「限りなくクリア（透明）、サウンド（健全）、フェア（公平）」の経営理念のもと、サステナビリティを巡る課題への対応を通じて、持続可能な経済・社会・環境の実現に貢献し、ステークホルダーの皆さまからの期待に応え続ける総合金融サービスグループとして、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。	北陸銀行は、「地域共栄」「公正堅実」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

## 3. 各々の取り組み（ニューズリリース2022年4月～2023年2月より一部抜粋）

富山銀行	富山第一銀行	北陸銀行
SDGsサポートサービス開始（5/11）	新たに「サステナビリティ方針」を策定。併せて「気候関連財務情報開示タスクフォース」提言への賛同を表明。（5/31）	CO2排出量実質ゼロの「グリーン電力」を東京支店ビルにて導入（4/4）
女性活躍推進法に基づく第Ⅲ期行動計画策定。女性総給職を50%増とする、男女共育育児休業取得率を100%とする。（6/13）	温室効果ガス排出量の算定・可視化を提供する「カーボント」提携、脱炭素経営を目指す地域企業の支援を行う（6/3）	Web口座開設で削減した費用の一部を環境保全団体に寄付。パワーステップであり森林保護やCO2排出量低減にも貢献（6/3）
取引先と銀行によるチャリティイイゴルフコンペ開催、約20万円の募金が寄せられ高岡市立図書館へ児童用図書贈呈（10/3）	三井住友海上・MS&ADインテグリスが総研と業務提携し、CO2削減に向けた相談から目標設定等の支援を提供（6/20）	富山県美術館に展示されている作品の紹介や鑑賞方法を解説する「中学生のためのミュージアムツアー」を寄贈。県内中学校や特別支援学校の1年生全員（約9千人）に配付。（6/10）
SDGs私募債の引き受け7社、SDGs私募債による小学校ほかへの寄贈実施9先（R4年4月～R5年2月）	富山ファーストバンク社会福祉基金により、社会福祉法人やボランティア団体ほか16先に対し7百万円を助成（12/5）	寄贈型SDGs私募債引き受け50件、SDGs私募債による学校・県市町村等への寄付51件（R4年4月～R5年2月）
	取引先の「SDGs宣言」策定支援70先（R4年4月～R5年2月）	SDGs宣言策定支援98件（R4年4月～R5年2月）

2023年度  
公益社団法人日本青年会議所  
北陸信越地区富山ブロック協議会  
SDGsの取組みについて

事務局長 山本 建太

- 1.富山ブロック協議会とは
- 2.SDGsの取組みについて

# 1.富山ブロック協議会とは

富山県内には9つの青年会議所があります。

JCI富山・JCI高岡・JCIとなみ・JCI新川

JCI氷見・JCI小矢部・JCI滑川・JCI黒部・JCI射水

富山ブロック協議会はその9つの青年会議所から出向したメンバーで構成されています。

# 2.SDGsの取り組みについて

・各事業を開催にあたり、SDGsのゴールとターゲットを設け、対内と対外ともに意識づけをして取り組んでいます。

【SDGsのゴールとターゲット】

11	住み続けられるまちづくりを
11.3	2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。 自治体の長である、両市長をお招きし、まちづくり思いを共有することで持続可能な都市化の促進の機会となります。
17	パートナーシップで目標を達成しよう
17.17	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。 会員各位、来賓をはじめとした皆さまと思いを共有することで、挑戦の必要性を感じていただくことにより、パートナーシップが推進されていきます。

SDGs(持続可能な開発目標)17の目標&169ターゲット個別解説

【公益性に関わる事項】  
無

【SDGsの検証】

11	住み続けられるまちづくりを
11.3	2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。 自治体の長である、両市長をお招きし、まちづくりの思いを共有することで持続可能な都市化の促進の機会となりました。
17	パートナーシップで目標を達成しよう
17.17	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。 会員各位、来賓をはじめとした皆さまと思いを共有することで、挑戦の必要性を感じていただくことにより、パートナーシップが推進されました。

SDGs(持続可能な開発目標)17の目標&169ターゲット個別解説

【公益性の検証】  
無

## 2.SDGsの取り組みについて

- ・市と連携協定をしている青年会議所もあります  
（となみ青年会議所 南砺市）  
2019年より推進活動を行っています。



## 2.SDGsの取り組みについて

- ・ジェンダー平等を考える機会として、ショッピングセンター内で国際女性DAYの周知活動（となみ青年会議所）



## 2.SDGsの取り組みについて

- ・紙資料の削減、資料のデータ化の推進  
Googleドライブを使用し会員同士で資料の共有を行っている。



1. 今年度の取組 (特に共有したい取組)

- ① 富山の社会課題とそれをめぐる市民活動 (NPO等) の見える化  
 →書籍を発行「新・NPOが動く とやまが動く」(とやまNPO  
 研究会 編) <http://www.katsurabook.com/booklist/1500/>

※新田知事からも寄稿いただいた。

【取り上げたトピック】高齢者、障害者、貧困・格差、子ども  
 支援・子育て支援 (不登校、子どもの権利など)、食をつなぐ  
 市民活動 (フードバンク、子ども食堂など)、外国人 (多文化  
 共生)、農業、ジェンダー平等、自然環境、林業、企業・若者  
 の取組 他



- ② 誰一人取り残さない声を継続的に集める仕組み作り  
 →多様な市民団体等のゆるやかなネットワークづくり

<https://www.pectoyama.org/post/sdgsmsmtg2023toyama>



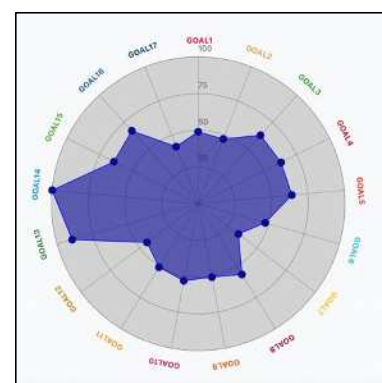
2. 提案事項

- 富山県のSDGs進捗確認について

自治体レベルの項目に絞った「地方創生SDGsローカル指標リスト」(事務局:内閣府地方創生推進事務局)に準拠してはいかがでしょうか。

[https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/kaigi/sonota/sdgs\\_shihyou\\_risuto\\_2.pdf](https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/kaigi/sonota/sdgs_shihyou_risuto_2.pdf)

→これを元に、毎年の富山県SDGs連絡推進会議等にて進捗を確認し、各委員・関係部署等から評価・補足等を得る



<input checked="" type="checkbox"/> GOAL12	つくる責任 つかう責任 <small>クリックで詳細を非表示▼</small>		43.73	
<input checked="" type="checkbox"/> L12.2.1	1人1日当たりのごみ排出量 (家庭部門)	1038.17[g/ (人・日)]	8.51	
<input checked="" type="checkbox"/> L12.4.2	有害廃棄物割合 (その他の廃棄物/廃棄物の総搬入量)	0.10[%]	62.38	
<input checked="" type="checkbox"/> L12.5.1	ごみのリサイクル率	23.68[%]	60.30	

※進捗を見る化したサイト:ローカルSDGsプラットフォーム (法政大学川久保研究室) より  
<https://local-sdgs.jp/?lang=ja> (要登録)

## SDGsの取り組みを家庭から

富山県婦人会

富山県婦人会では、「SDGsの取り組みを家庭で、地域で、できることから始めましょう」とよびかけ、さまざまな活動に取り組んでいます。その一端を紹介します。

一昨年10月に行ったSDGs宣言では、以下の3つの目標を掲げました。

- 1 地域社会のあらゆる意思決定の場において、**女性が積極的に参画し、リーダーシップをとれるような機運の醸成に努める。**

現在、いつ発生するか分からない災害に向けて、積極的に防災学習会、避難訓練等を行い、地域の防災力、減災力を高める取り組みを行っている。

- 2 充実した生涯学習の機会を促進し、**家庭教育の振興と青少年健全育成を図る。**

親子活動等も取り入れての家庭教育研究集会や家庭教育セミナーを実施している。

結核等感染症予防に取り組んできた経験から、ここ数年の新型コロナの感染予防のためには正しい知識と習慣を身に着けることが必要であると考え、研修会等で学んできた。

また、食材（昆布等）をとおして、家庭の中から北方領土等の問題についても考える機会をもつようにしている。

- 3 省エネ、省資源の啓発活動に取り組み、**環境保全**に取り組む。

平成9年より実施した**マイバッグ持参運動**が県全体、全国へと広がり、一定の成果が上がっている。現在、コンビニ等での持参を呼びかけている。

平成29年より**食品ロス削減**に関する活動を始め、学習会・ワークショップ等の開催、チラシを作成し啓発活動、食品ロス削減レシピの募集・調理実習等を実施してきた。令和2年から行ってきた家庭ごみの計量をとおして、参加者は食品ロス削減の意識が高まり、生ごみを減らす方策を検討してきた。令和4年度は消費者庁主催の食品ロス削減推進サポーター育成講座を10名が修了。今後、それぞれの啓発活動を開始する。

現在大きな問題となっている**プラスチックごみ削減**に向けての取り組みも行っている。家庭ごみの計量結果を研修会等で発表し、令和3年度の「プラスチックごみ削減のための活動宣言」で発表した取り組みを各家庭で実施している。

さらに、環境問題全般の実態を把握するために、令和4年8月に「**環境問題に関するアンケート**」を実施した。県内在住の約1600人にマイバッグ持参、食品ロス削減、プラごみの削減、SDGs等について調査した。（その一部は婦人会だよりの4ページから5ページに掲載してある） 調査の結果を元に、明らかになった課題に今後も取り組んでいきたい。



# 富山県SDGs宣言実施状況報告書



2023年 2月17日

企業・団体名 富山県生活協同組合連合会

代表者名 小泉 謙二

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

## 記

1 取組み期間 令和 4年 4月 1日 ~ 令和5年2月17日

## 2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p><b>【目標】</b> エシカル消費について学習会を開催し、自らエシカル商品を購入する富山県民を増やします。</p> <p><b>【実施状況】</b> ・11月5日「とやま生協東部センター祭り」にて東海大学の学生と県内NPOと連携し、羽毛製品の回収とリサイクル羽毛を使ったワークショップを開催しました。羽毛布団14枚、ダウン12枚が回収できました。ワークショップは52名の参加があり、回収した羽毛の活用方法等を説明しました。</p>
2	<p><b>【目標】</b> 組合員へ食品ロスの削減支援と、まだ食べられる食品をフードバンクや地域団体等へ寄贈します。</p> <p><b>【実施状況】</b> ・10月をフードドライブ月間とし関係団体と連携し取り組み329.2kgの商品が寄せられました。今年度あらたにとやま生協では、いずみ高校と連携し生徒さんが学校内でフードドライブを呼びかける取り組みがありました。集まった商品はフードバンクとやまと連携し、県内の福祉事業所等に商品を届けました。一部、大学生の支援にも活用されました。 ・1月20日に「パーム油からエシカル消費を考えよう」をテーマにワークショップを開催し26名の参加があり、環境破壊、児童労働問題や、フェアトレード、RSPO認証等について学習しました。</p>
3	<p><b>【目標】</b> 地域と一体となり海洋ゴミの削減と、若者や子どもたちを対象にした環境教育を実施します。</p> <p><b>【実施状況】</b> ・6月3日に「富山湾の海洋ゴミの現状について」NPECより講演いただき33名の参加がありました。マイクロプラスチック調査のやり方についてもレクチャーいただき学習しました。 ・6月19日に八重津浜、六渡寺海岸の海岸清掃活動を行ない511名の参加がありました。約1,397kgのゴミを回収した。また、マイクロプラスチック調査を実施し3,238個見つかりました。</p>

1 基本姿勢

- 【基本理念】 「子どもは、家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」
- 【目的】 「保護者と教員が協力し、児童生徒の健全育成と教育環境の充実を図る」
- 【スローガン】 「子どもたちの幸せな未来を全力応援！ ～ワンチームとやまPTA～」

2 取組の具体

取組目標	取組の具体	関連目標
 <p>質の高い教育をみんなに</p> <p>質の高い教育</p>  <p>ぼん いえ 子ども110番の家</p>	<p>1 各種委員会開催による事業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 総務委員会、会員大会実行委員会、ワンチームとやま委員会、研修委員会、家庭教育／教育環境委員会、広報委員会開催による実践活動</li> <li>② 広報紙「とやま県PTA」及びウェブサイトによる事業広報活動</li> </ul> <p>2 県PTA連合会会員大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 研究指定PTAによる実践発表</li> <li>② 今日の課題等にかかわるパネルディスカッションの開催</li> <li>③ 「楽しい子育て全国キャンペーン」にかかわる三行詩コンクール表彰式</li> </ul> <p>3 各種委員会や審議会等での意見発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 働き方改革、部活動指導、特別支援教育、男女共同参画、環境教育、安全なまちづくり、ひとづくり、教育委員会等への出席による意見表明</li> </ul> <p>4 県への要望書提出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 単位PTA及び地区PTAへのアンケート調査実施</li> <li>② 各種懇談会の開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブロックPTA、県教育委員会、県P連OB県議、県小中学校長会、県高等学校PTA連合会、県教職員組合、県PTA親子安全会等との懇談会開催による意見交換</li> </ul> </li> <li>③ 総務委員会での要望書作成と役員会での協議</li> <li>④ 県知事さんとの意見交換</li> </ul> <p>5 「親を学び伝える学習プログラム」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「親学び」講座開催の推奨</li> <li>② 親学びリーダー要請への対応</li> </ul> <p>6 「子ども110番の家」看板の希望頒布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちの安全確保</li> <li>・ 通学路の点検参画</li> </ul> <p>7 地区区PTA、単位PTAでの類似活動推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地区PTAとの連携強化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新設のワンチームとやま委員会を中心とした意見交流</li> </ul> </li> <li>② ウェブサイトのリニューアルによる情報共有</li> <li>③ 「児童生徒の健全育成活動推進事業」の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭教育にかかわる講演、研修会の開催、親を学び伝える学習プログラム、登下校の見守り、長期休業期間中の地域巡回等の実施 等</li> </ul> </li> </ul>	 <p>ジェンダー</p>  <p>働きがい</p>  <p>不平等</p>  <p>平和と公正</p>  <p>パートナーシップ</p>
 <p>豊かな海</p>  <p>豊かな陸</p>  <p>飢餓ゼロ</p>	<p>1 「家族で実践！ふるさとの大クリーン作戦」実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 4月から9月までの間での活動依頼</li> <li>② 実施報告書の提出依頼</li> <li>③ 理事会での実施状況概要の報告</li> </ul> <p>2 役員会等でのペーパーレス推進、食品ロス削減、資源回収等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 紙を廃し、ウェブサイトを活用した資料提示</li> <li>② 「食ベキリン」活動の推奨</li> <li>③ 資源の有効活用の推進</li> </ul> <p>3 地区PTA、単位PTAでの類似活動推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 外部団体のSDGs活動参加</li> <li>② ベルマーク運動参加 等</li> </ul>	 <p>安全な水</p>  <p>気象変動</p>

## 2022年度「エシカル消費」普及啓発の取組み(富山県消費者会)

■趣旨 「エシカル消費」=SDGsの目標達成に貢献する具体的な消費行動  
2020年度から、「エシカル消費」に対する県民や事業者の理解を広め、実践を促すための普及啓発活動を行っている。(県の委託事業)

※ エシカル消費とは、人や社会、環境、地域に配慮した消費をすること

### ■県民向け啓発事業

#### ア 富山県消費者大会(4.10.7)

講演「エシカルファッションが未来の扉を開く！」ファッションコーディネーター 生駒芳子氏  
エシカルセッション「エシカル消費と消費者志向経営で循環型社会をつくっていこう！」

#### イ とやま食の王国フェスタ2022(4.10.29~30)や、とやま環境フェア2022Web会場及び小規模リアル会場(4.10.10)において、エシカル消費を普及啓発

### ■企業参加型エシカル消費PR支援等事業

事業の趣旨に賛同いただいた企業の店舗内において「とやまエシカルフェア」を開催  
協力店:イオン、アルビス、とやま生協、大和富山店



### ■フードドライブ・マッチング推進事業

若者への食品ロス削減・フードドライブ推進啓発事業  
・4つの高等学校(桜井、富山工業、小杉、砺波)の協力により、出前講座による学習、フードドライブ実践アイデアコンテスト、学校におけるフードドライブの実践、アンケートなどを行った



### ■消費生活研究グループの活動の一環として、エシカル消費を実践 海岸清掃(4.6.19) フードドライブ(4.7月~8月)



# エシカル消費の 推進に向けて

貢献できるSDGs

12 つくる責任  
つかう責任

おもな目標

つくる責任つかう責任  
持続可能な生産消費  
形態を確保する



関連する目標

1 貧困をなくそう

3 すべての人に  
健康と福祉を



6 安全な水とトイレ  
を世界中に

14 海の豊かさ  
を守ろう

15 陸の豊かさ  
を守ろう



- ①消費者は、人や社会、環境、地域などに配慮し、エシカル消費の輪を広める
- ②事業者は、エシカルな商品作りや、消費者への分かりやすい情報提供に努める
- ③エシカル消費に対して、消費者と事業者が同じ方向で、協働して循環型社会を目指す

<今年度のSDGs普及展開について>

【富山市】

【サポーター・推進コミュニケーター】

SDGsに関心がある、SDGsに関する活動に取り組む意欲がある、または現在取り組んでいるという個人や法人を「富山市SDGsサポーター」として登録を行っている(2019年度から)。



SDGs関連イベントなどの情報提供や、各自の具体的な取組を集約し、SDGs優良事例として新聞やホームページで紹介

\*2023年3月1日現在  
1,041名、338団体・企業が登録



地域・職場等でSDGsを広め、自ら実践する「富山市SDGs推進コミュニケーター」養成講座を開催(2020年度から)。

サポーター募集告知(8月・10月)



SDGsについて講義やワークショップを通して学習してもらう(オンライン参加も可)

\*2023年3月1日現在  
147名を認定

【SDGs普及啓発ツール】

スタートブック：SDGsに関心の市民に対し、実践に移すための支援ツール



→配布先：SDGs 関連イベント参加者、推進コミュニケーターほか

【関連イベントほか】

○SDGsセミナー

令和4年8月7日(日)

講師：中島 達朗氏(株式会社ふるサポ代表取締役)

→あいおいニッセイ同和損保との包括連携協定に基づき、実施自治体職員、民間企業、高校生23名が参加



## ○SDGsスクエア

令和4年8月10日（水）～15日（月） 大和富山店

SDGs をテーマに、ブース展示のほか、循環型消費の体験スペースに、行政、民間企業、大学等が、幅広いテーマでイベントを実施

### <協力団体>

JICA 北陸、富山大学、富山国際大学附属高校、富山市立堀川小学校、ささづ苑、西部トラベル(株)、三井住友海上火災保険(株)、北陸電力富山支店、富山市環境センター



## ○SDGs 出前講座・大学講義・視察対応

SDGs の普及啓発のため、職員による出前講座や大学での講義を実施

対象人数：延べ1, 200名

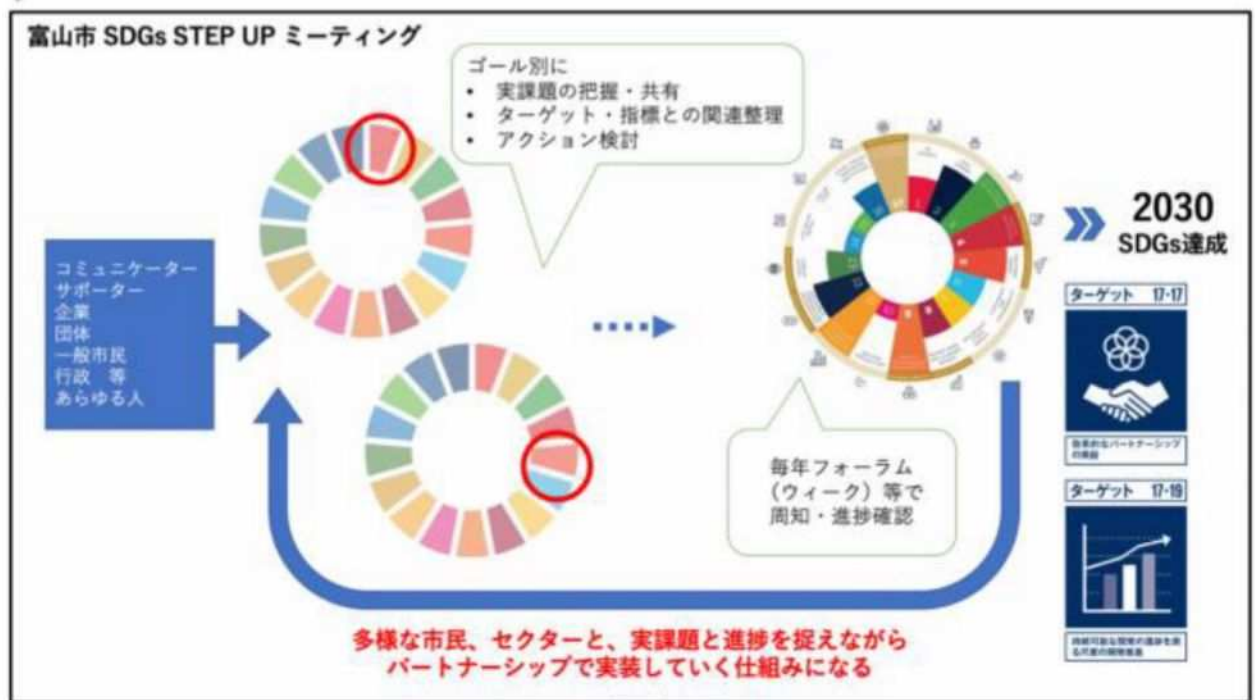
No.	日程	名称	分野
1	4月8日	新規採用職員	行政
2	4月15日	富山大学都市デザイン学部	教育
3	5月19日	枚方市立招提北中学校	教育
4	5月24日	バイホロン株式会社	企業
5	6月2日	京都市立小栗栖中学校	教育
6	6月16日	上滝地区総代会	市民
7	6月17日	消費生活教室	市民
8	7月2日	藤ノ木校区自治振興会	市民
9	7月5日	イタイイタイ病語り部	市民
10	7月13日	藤ノ木・山室中部地域包括支援センター	市民
11	7月15日	消費生活教室	市民
12	7月26日	みらいロータリー	企業
13	7月28日	羽根長寿会	市民
14	8月10日	藤ノ木・山室中部地域包括支援センター	市民
15	8月17日	食生活改善協議会	市民
16	8月22日	インターンシップ	行政
17	8月23日	富山市社会福祉協議会	行政
18	8月25日	富山大学人文学部	教育
19	8月25日	富山南高校	教育
20	9月17日	大学コンソーシアム富山	教育
21	10月3日	熊本県御船町	行政
22	10月14日	富山大学	教育
23	11月10日	実践倫理校成会	市民
24	11月21日	東洋大学	教育
25	11月24日	大山ボランティア協議会	市民
26	11月25日	富山国際大学	教育
27	1月11日	一関高専	教育
28	1月16日	富山国際大学	教育



## ○SDGsアクションミーティング（昨年度まで、ステップアップミーティング）

コミュニケーターに限らず、多様な人々でゴール別に課題の実情を捉え、SDGsターゲット・指標との関連を整理しつつ、課題解決に向けて各々の考えや実践を持ち寄り、進捗のモニタリングを行っていき、参加者が主体となる交流の場を創出

\*第1回（11月）：ゴール4 教育 第2回（12月）：ゴール12 資源循環  
第3回（1月）：ゴール5 ジェンダー平等 3回で延べ40名が参加



## ○SDGs教育旅行

### 取組の概要

地域の課題解決の考え方を教育旅行の素材としてプログラム化(パンフレット)



富山市のまちづくりの取り組みをはじめ 12のSDGsプログラムを開発(ガイドブック、ワークシート)



R3年度実施 16校 1,004名  
 R4年度見込み 37校 2,694名





## ○SDGs ウィーク（1月21日～29日）

SDGsの一層の普及展開に向け、市内各所で集中的にSDGs関連イベントを開催することにより、多くの市民や企業、団体がSDGsを「知り、理解し、実践する」機会を創出した。

今回、SDGsウィークをG7会合のプレイベントとし、「教育」「ウェルビーイング」を本イベントのテーマとして盛り込んだ。

### 【スケジュール】

1月21日(土)	<b>富山市SDGsユースミーティング【場所：TOYAMAキラリホール】</b> 学生や社会人が議論を交わし、アクションにつなげる。
1月22日(日)	<b>こどもみらいSDGsフォーラム【場所：TOYAMAキラリホール】</b> ステージ発表とSDGs学習ゲームを通し、SDGsを理解する。
1月23日(月)	<b>SDGsシネマ「夢みる小学校」上映会【場所：ほとり座】</b> “ミライ教育ドキュメンタリー”の上映とトークイベントで教育を考える。
1月24日(火)	<b>H2-Start up TOYAMA Conference【場所：富山国際会議場】</b> 水素サプライチェーン構築に向けた期待と構築について議論を交わす。
1月25日(水)	<b>富山市SDGsアクションミーティング【場所：サンフォルテ】</b> SDGs目標5番「ジェンダー平等」について職場でできることなどを考える。
1月26日(木)	<b>JICA公開セミナー「海をこえて、みんなで考える！再生可能エネルギー」【場所：サンシップとやま】</b> 脱炭素や再生可能エネルギーへの関心を高める機会をつくる。
1月27日(金)	<b>目覚めよマッスル アスリートカレー 富山えごまスパイスカレー部【場所：日本海ガスショールーム Prego】</b> 合言葉は「目覚めよマッスル！」。地産地消の食材を使ったスパイスカレーを作る。
1月28日(土)	<b>SDGsマルチステークホルダー・ミーティング【場所：富山国際会議場】</b> 富山のSDGsの推進に取り組んでいる市民団体が意見交換を行う。 <b>富山市SDGs推進フォーラム【場所：富山国際会議場】</b> ○パフォーマンス、基調講演「自分らしく生きる幸せ～多様な個性を受け入れるとは？～」 サクラカツミ 氏（パフォーマンスアーティスト） ○パネルディスカッション「大人も子どもも自分らしく～誰一人取り残さない社会へ～」 藤田香氏（日経ESGシニアエディター、東北大学大学院教授） サクラカツミ 氏（パフォーマンスアーティスト） 高木要志男氏（富山ユネスコ協会会長） 藤井 裕久（富山市長） ○SDGs取組発表 ○「チームとやまし取組大賞」表彰式
1月29日(日)	<b>川からはじまる。ウェルビーイングな地域の未来づくり【場所：サンシップとやま】</b> 川との関りからウェルビーイングな暮らしについて対話を通じて考える。

→SDGsウィーク参加者数（オンライン参加含む） 延べ約2,000名



### 【チームとやまし取組大賞】

チームとやまし登録チームの取組の中から、他のチームや市民への波及効果が期待できる取組に対してSDGs推進フォーラムで表彰

みんなで止めよう！地球温暖化  
チームとやましに 参加する！

活動中！  
チームとやまし

登録チーム 1,266 チーム

登録チームメンバー 26,455 名

家族で参加 FAMILY

会社で参加 OFFICE

参加チーム一覧

クックパッドでレシピを公開中

facebook チームとやまし公式ページ

関連リンク

### 大賞

「チーム日本海建興」

### 特別賞

「チーム立山農園」



### ○エネルギー・都市・地域：地域循環共生圏モデル構築事業

上滝地区における地域資源を生かした地域活性化の方策を検討するために、住民主体による「上滝地区地域循環共生圏づくり会議」が発足し、富山県の「中山間地域『話し合い』促進事業」を活用し、今年度3回のワークショップ「上滝みらいミーティング」を開催。講師：金子洋二氏（NPO法人まちづくり学校理事）

→ワークショップ終了後も、地元主体で話し合いを継続しており、今後、具体的な活性化策を官民連携で進める予定。



## 【普及啓発】

### ■積極的な出前講座の実施



学校、地域の団体、企業などを対象に、市職員や地域おこし協力隊がSDGsや環境に関する出前講座を実施。講義形式やゲーム形式など市民のニーズに寄り添った講座を実施しており、市民のSDGs意識やシビックプライドの醸成を図っている。

### ■イベント等におけるブース出展



地域のイベントやショッピングセンターでのブース出展による啓発活動を実施。親子で楽しみながらSDGsについて考えていただくきっかけづくりとなる体験型コーナーや、ペレット製品などの展示やフードドライブの実施により、普段の生活におけるSDGsの実践を呼びかけた。

### ■SDGsカフェの開催



SDGsカフェとして、SDGsの各ゴールに関する映画の上映会やワークショップなどを開催。映画や体験を通じた気付きから、持続可能な社会について考えるきっかけづくりとしている。今年度は、自然との共生をテーマにした映画上映会、南砺の自然にある素材を活用しアップサイクルである藁草履づくり体験、農業に関する座談会など、計5回実施した。

## 【各種団体との連携】

### ■なんとSDGsパートナー制度の運営



SDGsのゴール達成につながる取り組みを市内で実施する企業・団体などを登録。令和5年2月末時点で96団体を登録し、それぞれの組織においてSDGsの推進に努めるとともに、市HPなどで登録団体や取り組みの見える化、登録団体間の連携促進を図っている。

### ■SDGs推進セミナーの開催



なんとSDGs パートナーをはじめとした地域の企業・団体を対象として、地域課題の解決のために企業・団体間や地域住民と連携した取組を促進することを目的としたセミナーを開催。講師による講演、パートナーの取組事例紹介のほか、参加者交流会も実施し、参加者それぞれの課題を共有した。

### ■大学との連携



富山国際大学の現代社会学部1年生の、地域連携の知識と技能を身に付けることを目的とした「地域づくり実習」を南砺市をフィールドに実施。南砺市内の各事業所に学生自身が訪問・ヒアリングし、SDGsの観点を取り入れた提案を行った。今年度は市内事業所11箇所に訪問。

### ■となみ青年会議所との連携



SDGs推進に関する包括連携協定を結ぶとなみ青年会議所と連携して、市民が主体となるまちづくりの必要性について考えるイベントを開催。ゲストスピーカーによる講演や参加者全員でのディスカッションなどを通して、「地域の課題を自分ごととして捉えて行動することの必要性」を考えていただくきっかけづくりとした。

【地域を支える取り組み】

■中間支援組織の運営



「住民」と「行政」を繋ぐ「公共」の立場で（一社）なんと未来支援センターが地域の課題解決をサポート。資金面での支援は（公財）なんと幸せ未来基金が担い、2つの組織が両輪となって地域の想いを自ら実現できる仕組みとしている。

■高校生が創るプロジェクト



昨年度に引き続き、高校生に事業費1千万円を託し、南砺市の新しいイベント等を企画・運営していただくプロジェクトを実施。今年度は、昨年3月に閉校した旧南砺福光高等学校を舞台に「アオハル際in青春学園」として開催した。自分たちが企画した活動の実現を通じて、高校生はもちろん、地域の事業所の方などこの事業に関わる様々な人とのネットワークづくりを図りながら、若者の「やりたい！」が叶うまちを目指す。

■南砺ひととみらい協同組合の設立

派遣スケジュールイメージ



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員A	林業 木製品	林業 木製品	日帰り温泉施設		キャンプ場・コテージ施設		林業 木製品	スキー場(たいら)				
職員B	農業 (米)	農業(南瓜、蕎麦、みょうが、赤かぶ、五箇山ぼべら)						食品加工 業	スキー場 (IOX)	スキー場(タカ)		
職員C	日帰り 温泉施設	日帰り温泉施設		林業 木製品		日帰り 温泉施設		日帰り温泉施設 スキー場(タカ)				
職員D	企画	企画			企画		食品加工業 (かぶら寿司製造)		スキー場 (IOX)	企画 (いちこ)		
職員E	農業 (いちこ)	農業 (いちこ)	農業 (いちこ)	農業(二才)		農業 (二才)	農業 (いちこ)	製造業(建築資材作成)				

特定地域づくり事業推進法に基づく協同組合である「南砺ひととみらい協同組合」を県内初で設立。「事業者単位でみると年間を通じた仕事がない」「安定的な雇用環境、一定の給与水準を確保できない」などといった課題を解決するために、地域の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出し、組合で職員を雇用し事業者に派遣する。